

# 実践に使える質的調査と量的調査

施設の運営評価は、来訪者数など単純に把握できる数値に偏りがちですが、そうした「量」だけを指標とする評価には限界があります。また、施設には、その設置目的に応じて来館者の反応を把握し、展示や活動等による学習効果を高めていくための評価と改善が求められますが、そうした手法が確立・普及しているわけではありません。

今回は、科学技術コミュニケーション専門家をお招きし、そうした定性評価の実例を元にした施設の改善例や、アンケートなどの量的調査を外部的戦略に活用する事例をお聞きし、施設の運営評価への活用の可能性について考えてみたいと思います。施設に限らず、セミナーやイベント等の活動の評価・改善に関心のある皆様も是非ご参加ください。

**日時** 2020年 1月23日 (木) 14:30～16:30 (開場 14:00)

**会場** 札幌エルプラザ公共4施設 2階 会議室1・2  
(札幌市北区北8条西3丁目)

**定員** 50名 (参加無料/どなたでも参加できます)

## 内 容

### 1. 講演「実践に使える質的調査と量的調査」 (約60分)

講師：奥本 素子さん

(北海道大学高等教育推進機構 オープンエデュケーションセンター)  
科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP) 准教授

### 2. 質疑応答・意見交換 (約50分)

主催：環境中間支援会議・北海道\*

\* 環境中間支援会議・北海道とは…

札幌を拠点に環境保全活動の支援を担う、環境省北海道環境パートナーシップオフィス、公益財団法人北海道環境財団、札幌市環境プラザ、NPO法人北海道市民環境ネットワークの4つの組織による共同事業体です。

今回のような勉強会の他、北海道内の環境保全活動に関する情報発信や書籍の刊行等を協働で実施しています。

詳しくは、<http://enavi-hokkaido.net/> をご覧ください。



講師 奥本 素子さん

(北海道大学高等教育推進機構  
オープンエデュケーションセンター)  
科学技術コミュニケーション教育研究部門  
(CoSTEP) 准教授

1980年、福岡生まれ。博士(学術)。博物館を中心にインフォーマルラーニングについて、教育工学的手法にのっとり研究を進めている。また業務においては、生涯学習、サイエンスコミュニケーションなどに携わっている。

## お申込み・お問い合わせ

お申込みは、<https://epohok.jp/event/11085> のフォームに入力いただくか、または、E-mail、電話 で下記まで [お名前] [ご所属] [連絡先] をお知らせください。

公益財団法人 北海道環境財団 (担当：久保田)

〒060-0004 札幌市中央区北4条西4丁目1番地 伊藤・加藤ビル4階

E-mail: [epoh-webadmin@epohok.jp](mailto:epoh-webadmin@epohok.jp) TEL: 011-218-7811